

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所
〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田) Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp



210号
2024年12月20日発行

憲法9条を守り、平和を願って、 9日・19日スタンディングをしています！ 参加しませんか！



9日は市役所前、19日は、イオン・カワチ前、とちぎコープ前、ケーズデンキ前と順番に場所を変えて、9条を守り、平和を守るためのアピールをしています。4月から10月までは16時から、11月から3月までは15時から、30分間のスタンディングです。その時により数人から10数人の方が思い思いに集まります。

時として、通りすぎる車の中から、連帯のクラクションや、手を振る方などがいて、力づけられます。「何をしているの？」と不思議そうに聞いてくる小学生もいます。時には、通りがかった高校生と討論をすることなどもありました。

ウクライナやガザの戦争など、世界では不穏な状況が続いていますが、戦争の反省の上に成立した9条の精神を守り、生かしていきたいという思いで、今後も継続していきます

衆議院選挙の結果、改憲勢力が3分の2を割りましたが、更に憲法を守ろうという声を大きく広く広げていきたいものです。お時間がありましたらお出かけください、おしゃべりしながら、歌を口ずさみながらそれぞれのスタイルで、スタンディングをしましょう。

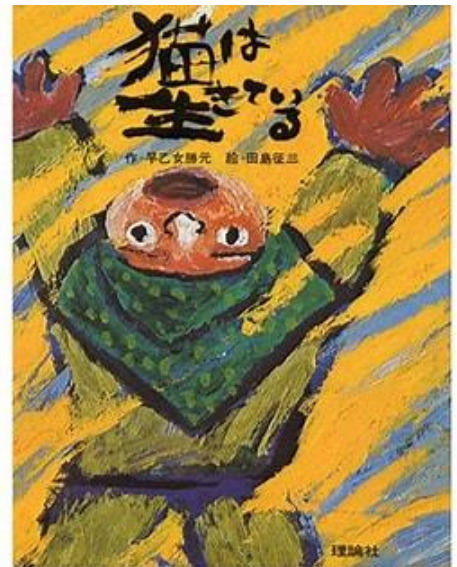
絵本紹介 早乙女勝元著「猫は生きている」

東京大空襲を猫を通して、描いている絵本

昌男の家の軒下に住み着いた野良猫稲妻。四匹の子どもを産んで、たくましいお母さんです。食べる物のない中、昌男たちは、少しの煮干しを稲妻たちの餌としてあげるなど、稲妻を温かく見守っていました。

3月10日、激しい空襲に昌男たちは逃げまどいます。そんな中、であった稲妻一家との逃避行。

昌男の妹光代は焼夷弾に直撃され、亡くなります。お母さんと昌男ははぐれますが、昌男は稲妻と行動を共にし、昌男は稲妻たちを助けて死んでしまいます。お母さんも幼児チイちゃんも、子猫を一匹抱えて、死んでいました。子猫だけは生き残りました。



くららフェスタに参加！

3月9日(日) 交流センターで

午前(予定11時～) 戦争体験を聞く会
午後(予定13時半～) 歌で綴る平和の願い

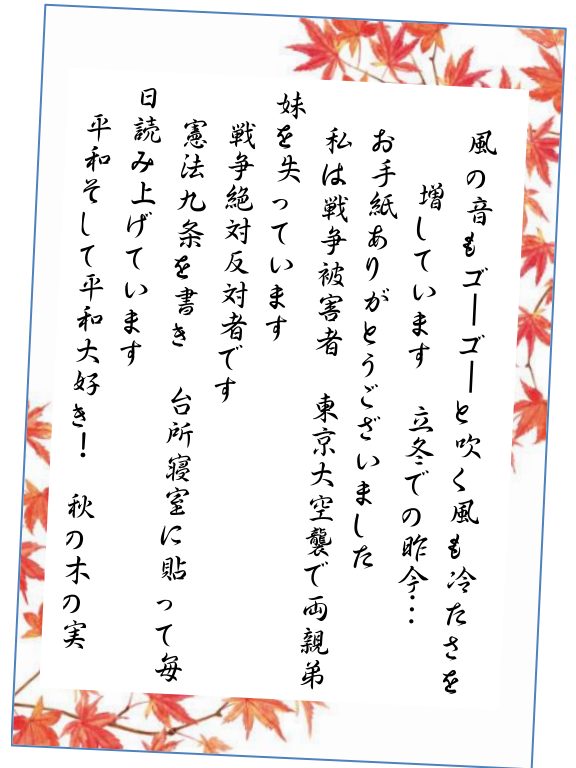
3月9日(日)に開催される「くららフェスタ」に九条の会も参加します。

午前中は、木村マスさん(足利在住)の戦争体験を聞く会
午後は「歌で綴る平和の願い」と題し、みんなで歌を歌って、平和を楽しむ企画を計画しています。

木村さんは、東京大空襲で、家族を失っています。右のはがきは、木村さんが九条の会に送ってこられたものです。ご本人の承諾を得て掲載しています。

会場等まだ、詳細は決まっていますが、3月9日をぜひ開けておいてください。

ご一緒に、戦争と平和について、考え、平和を謳歌しましょう。



原発はとてつもない被害をもたらす！

11月23日(土)に宇都宮城址公園にて第11回「さよなら原発！栃木アクション」集会在催されました。少々風が冷たくなってきた時期でしたが、県内各地から若者、子連れご夫婦、年配者たち約700名が参集しました。

プログラムはプレコンサート(桑川吉見氏 ヴァイオリン独奏)のあと、主催者代表で大木一俊弁護士の挨拶、各地首長(小山市長、鹿沼市町、市貝町長、塩谷町長)のメッセージ、講師として樋口英明氏(もと福井地裁裁判長)の講演、集会アピールの採択、その後参加者で市内パレードをして宮の橋で解散、と進みました。新幹線のトラブルで樋口先生の到着が遅れましたが、集会には間に合って講演が始まりました。樋口先生は映画「原発を止めた裁判長そして原発を止める農家たち」の主人公です。

どんなお話が聞けるか、大変楽しみでした。全部は書ききれませんので、皆様にはポイントをピックアップしてお伝えします。『「脱原発」の一番の障害物は「原発問題は難しい」という先入観だ。原発訴訟を担当して確信したことは「問題は極めてシンプル、二つだけ」①原発はどんな時も人が管理しなければ暴走する。②暴走した時の被害はとてつもなく大きい。このようなものは他にない、我々の常識が通用しない技術だ、ということを肝に銘じるべきである。原発問題はエネルギー問題、環境問題、人権問題でもあるが、一方、先の福島事故で2号機の格納容器が爆発した場合の経済的損失は約2,400兆円と試算された。これでは国が破産する。原発問題は国の存続の問題、つまり国防問題でもあるということ。と同時にロシアとウクライナの戦争を見てもわかる通り、原発は自国に向けられた核兵器でもある。核兵器の除去は意思さえあれば踏み出せる！市民運動はこれまで多くの成果をもたらしてきた。脱原発の展望もここにある。』
(大塚育子 記)

- ◆ スタンディング:1月9日(水)市役所前・1月19日(日) とちぎコープ前 15時から
- ◆ スタッフ会議:1月17日(金)・1月30日(木) 13時30分から くらら